

チャグチャグ馬コ 受け継ぐ思い

毎年、多くの人でにぎわうチャグチャグ馬コ。華やかな装束に身を包んだ馬たちが鈴の音を響かせながら歩く姿は、滝沢の初夏を彩る風景として親しまれてきました。その行列の裏には、長い年月をかけてこの行事を守ってきた人の思いと、これから先へ受け継いでいこうとする人の思いがあります。今回は、チャグチャグ馬コに関わる二人の話を通して、その魅力と受け継がれてきた思いを紹介します。

守り続けてきた人として



チャグチャグ馬コ同好会
滝沢支部長 藤倉広美さん

◆担い手を育て、伝統をつなぐ
藤倉さんが大切だと話すのは、馬と真剣に向き合える担い手を育てていくことです。チャグチャグ馬コは、ただ馬を引いて歩けばよい行事ではなく、馬の様子や周囲の状況を見ながら、最後まで責任を持って向き合わなければなりません。少しの油断が事故やけがにつながるため、馬



▲行進する藤倉さん

◆準備は家族との「団らん」
藤倉さんにチャグチャグ馬コの準備期間について尋ねると、「家族みんなで同じ目的に向かって準備を進める時間ですね」と話し、今年は誰が馬に乗るか話しながら装束を整え、馬をきれいに仕上げている。その時間そのものが大切で、行事への誇りにもつながっていると笑顔で話しました。

を任せられた人には高い集中力と覚悟が求められると話します。馬と接する機会が少なくなっている今だからこそ、若い人たちにはしっかりと学びながら関わってほしいと願っています。

「伝統を受け継ぐというのは、形だけではなく、向き合う姿勢も受け継ぐこと」その言葉には、長く行事を支えてきた人ならではの思いが込められていました。

◆華やかな装束に隠れた魅力
華やかな装束や子どもたちの姿はもちろん、その裏で馬と引き手が真剣に向き合っている様子にも目を向けてほしいと藤倉さんは話します。「見た目の美しさだけでなく、そこに込められた思いや責任感も、チャグチャグ馬コの大魅力の一つです」と力強く語りました。

◆知恵を出し合い未来へ
少子化や担い手不足などの課題はありますが、だからこそ知恵を出し合いながら、参加したくなる工夫をしていくことが大切だと話します。「見て終わりではなく、関わってみたい、支えたいと思う人を少しずつ増やしながら、次の世代へつないでいきたいと考えています」と話す様子から、伝統を守り続けてきた人としての重みが感じられました。



▲藤倉さんと桃藤

伝統をつなぐ人として



昨年馬主として参加した
泡淵珠久さん

◆馬とともに育った日々

幼い頃から馬が身近にいた環境で育ち、チャグチャグ馬コと深く関わってきた泡淵さん。昨年からは自分の名義で馬を出す立場となり、参加するだけでなく、行事を支える一人としての責任をこれまで以上に強く感じるようになってきたと語ります。「自分たちが動かなければ、滝沢の伝統文化がなくなるかもしれない」とそう感じたことが、チャグチャグ馬コへの思いをさらに強くしました。

◆表には見えない苦勞

家族が馬の飼育を続ける姿を見ている中で、行事を毎年行うためには餌代や施設の維持費、治療費など多くの費用がかかることを実感してきたといいます。さらに、行事に参加するためには装束の準備や手入れにも多くの手間と費用が必要になります。華やかな行列の背景には、そうした日々の積み重ねがあることを身近な家族を通して感じることでできたと話しました。

◆馬をもっと身近に

チャグチャグ馬コの魅力について聞くと、「普段の暮らしの中では馬と触れ合う機会が少ない人たちが、行事を通して馬を身近に感じられること」と話し「家ごとに異なる装束や馬の手入れ、髪形や尻尾の工夫など、それぞれの馬が持つ個性にも注目してほしいです」と来場者に呼びかけました。

華やかな行列を見るだけでなく、馬の表情やしぐさを見ることも、チャグチャグ馬コの新しい見どころです。



▲家族で参加する泡淵さん

◆思いを受け継ぎ、次の世代へ
家族から学んだのは、何事にも妥協せず、馬の体調や装束にも責任を持って向き合う姿勢です。チャグチャグ馬コは、関係者だけの力で続いてきたものではなく、多くの人の支えがあって受け継がれてきた行事だといえます。

「参加できることを当たり前と思わず、これからも誇りを持って関わり続けていきます」と語り、その言葉からは行事を受け継ぐ立場としての責任感と、次の世代へ思いをつないでいきたいという気持ちが伝わりました。

伝統を支える一歩を

チャグチャグ馬コを未来へつなぐため、市ではクラウドファンディングに取り組んでいます。馬の飼育や装束の維持には多くの費用がかかることから、寄付を通して伝統を支える取り組みです。

鈴の音を未来へつなぐために、今できる応援があります。チャグチャグ馬コを支える一歩を、あなたも踏み出してみませんか。※詳細は市HPから



チャグチャグ馬コは、華やかな行列の裏で、多くの人に支えられながら受け継がれてきた伝統行事です。長く守ってきた人の思いと、次の世代へつなごうとする力があるからこそ、今もその姿を見ることが出来ます。午年の本年、チャグチャグ馬コの魅力と、その背景にある思いにもぜひ目を向けてみてください。

◆問い合わせ 観光物産課 (☎ 656・6534)